

# 大府かわら版



## 学校の教員不足問題 解消を

### 9月市議会・久永市議が質問

9月定例会市議会が8月28日(水)から始まっています(最終日は9月30日)。日本共産党の久永かずえ市議は9月4日に一般質問に立ちました。その概要をお知らせします。



# どの子にも行き届いた教育を

## 担任の未配置 5人も

市内の小・中学校

## 市独自で教員雇用を

教員の多忙化が全国で問題になっています。中でも教員不足は深刻。全日本教職員組合が各教育委員会に対して行った「教職員未配置についての調査」では、高等学校、特別支援学校を含み、5月1日時点で4051人不足という結果が明らかになっています。

大府市でも、今年4月時点で担任を配置できなかったのは9クラスあり、半年近くたった現在も5クラス・5人が不足したまま。問題は解消されていません。久永市議は、この状況打開について質問しました。

## 新規配置のメニューは?

◎久永市議:小中学校の教員が不足し、校務主任等が担任を兼務しているという5つのクラスについて、新たな教員配置のめどは立っているのか?

◆大府市の答弁:4月時点では、小學校及び中学校の特別支援学級5クラスで、育児休業などの教員に代わり、校務主任などが担任を兼任していた。その後職場復帰した担任もいるが、新たに通級学級の担任が産前産後休暇を取得しており、9月1日時点でも5クラスとなっている。

## 発達性ディスレクシア検査

### 小学校入学前の実施を

発達性ディスレクシアは学習障害の一つとされ、全体的な発達に遅れはないが文字の読み書きに限定した困難があるというものの。そのため学業不振や2次の学業不適応などが生じる場合もあります。会話ができたため周りからは気づかれにくく「努力が足りない」と誤解されることがも。検査で早期に把握できれば、個々への合理的配慮で子どもも学校も保護者も困ったり苦しんだりすることが軽減されるかと考えられています。

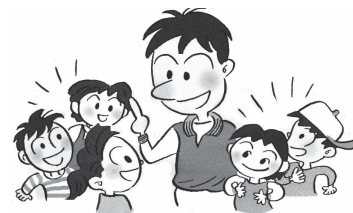
この検査を小学校入学前に実施して、子どもたちの得意な面、多様性を生かす教育を進めていく考えはあるかと、久永市議は質問しました。市は、厚生文教委員会の活動報告を参考に一人ひとりの特性を把握して適切な支援を行うことが重要、と考えを述べ、同活動報告の中で取り上げられている「つくばモデル」という取り組みの内容や導入されている自治体の効果等も参考にしていきたい、と答弁しました。

## 環境整備員の配置を

久永市議はさらに、教員が行っていた環境整備の仕事について、学校の環境整備員を配置し、教員が本務を全うできるよう環境を整えていく考えはあるか、とたどしました。

市は、学校全体の人員体制については県職・市職合わせて毎年検討している、などと答えました。

については、県教育委員会で教職員定数を決め配置、配当を決めているため、市独自で直接雇用することは現在考えていない、と述べるのみでした。



## 大府市がパブリックコメント

### 第3次大府市環境基本計画の中間見直しについて

- ▶期間…令和6年(今年)10月1日~30日
- ▶様式…問いません。
- ▶「計画」については、公民館や市役所環境課などで閲覧できます。

## 市議会予定

最終日・本会議

9月30日(月) 9時

相談はお気軽に声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で弁護士が対応

法律相談

10月16日(水)午後6時~<sup>無料</sup>

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521 携帯電話